

# 平成 30 年度 蕎麦プロジェクト活動報告

2018 年 11 月 11 日 大村

## 1. 目的

本プロジェクトは川崎町の資源をいかす会の協力を得て、本年7月に立ち上げました。追木理事より蕎麦つくりノウハウを伝授していただき、川崎町の休耕田(資源)を利用して、栽培・観察を行いながら会員通しの交流を図り、蕎麦つくりの楽しさを体験する。そして、本NPOの主旨である「食とエネルギーを100%自給」を目指していきたいと思ひます。

## 2. 活動内容(時系列)

- 7/20 休耕田草刈り(約 120 坪)
- 7/21 トラクタ耕運
- 7/22-8/1 石拾い、法面草刈り、ほ場整備・整地
- 8/2 トラクタ再耕運

### 1)8/5(1日目) 種まき

2)8/9(4日目) 種まきの翌日 8/6 より台風の影響で連日、雨模様で、ほ場の一部に水溜まりができましたが1時間後には引いており水はけがよく安心しました。蕎麦は雨に弱いので心配しておりましたが、3~4日後に、ほ場一面に芽がでました。

3)8/18(14日目) 双葉から本葉にかわりはじめ、約 10センチ程度までに伸び始めました。そして花の蕾も出始めました。

4)9/1(27日目) 連日、雨が降り続いており、川崎地域は大  
雨警報がでました。今年猛暑、長雨、台風と受難の年です。でも、水はけのよい畑のようで、宮沢賢治のように「雨にも負けず、風にも負けず」と順調に生育しております。蕎麦の背丈も 60センチほどにもなり、蕎麦の白い花が咲き始めました。

5)9/9(35日目) 台風 21 号、秋雨前線の影響で、しばらく、雨が降り続いております。種まき後、5 週間経過しました。蕎麦の背丈も 80センチほどにもなり、蕎麦の白い花が咲き誇っております。

6)9/16(42日目) ほぼ満開も終わりましたが、ミツバチや蝶々が飛び交っております。白い花をよく見ると3割程度は結実し黒くなりはじめました。遠目にみると満開状態と変わらないのですが、徐々に成熟した実から順に黒化し始めました。

7)9/29(54日目) 5割ほど実が黒化しました。8割程度になったなら刈り頃と言われております。

8)10/6(62日目) いよいよ蕎麦刈りです。台風 25 号も日本海側に逸れたため、風はやや強いが曇りがちの天気で作業するには良いお天気でした。実が 8割ほど熟し黒化しました。刈り取りは試行錯誤しながら、鎌や草刈り機で行いましたが、下草(スギナ)





が生えているので、蕎麦の茎にからみ、草刈機で行くと、蕎麦の根にスギナが絡まり、除去する作業が増えてしまいました。やはり、時間がかかっても鎌で刈り取りするのがいいと思いました。

**9)10/10(65日目)** ブルーシートに敷いた蕎麦が雨で濡れてしまいました。天気予報では今週はずっと天気がよいつっていたのですが、急遽、場所を移動して畑ののり面の勾配のある所に移動しました。蕎麦は雨に弱いので心配です。早く乾燥してくれることを期待しております。

**10)10/13(68日目)** 雨続きで蕎麦が雨で濡れてしまい、別の場所で干し直しましたが、一部で白い芽が出始めておりました。やはり蕎麦は雨に弱いようですね。そのため、一部の脱粒を行いフルイにかけました。乾燥具合を確かめながら日々脱粒する必要がありますね。夕方には**ブルーシートをかけて朝露を防ぐようにすることとしました。**

**11)10/21(75日目)** やっと**脱粒・くずとり・乾燥の半分程度**が終わりました。刈り取り後、天候不順で雨やら朝露でブルーシートをかけたりはずしたりと**雨対策が大変でした。**今日は晴天に恵まれ、朝早くから家内と2人で最後の島立の蕎麦を棒でたたいて脱粒が終わりました。ブルーシートに蕎麦を敷き詰めてお日様にさらしながら半日程度乾燥させ、その後、フルイにかけて、大きなくずを取り除きました。そして最後に細かいメッシュの袋に入れて、袋全体をもみながら、細いくずをふるい落としました。稼働的には2人で4日間程度かかりました。最後に縁側にメッシュ袋を吊るして再度乾燥させました。計量したところ、全部で20kg程度で、まずまずのできなかあと思います、

**12)11/3(88日目)** 蕎麦の先のとがった殻を取り除くため、メッシュ袋に入れもみながら蕎麦殻の角をこすりゴミくずを取り除きました。連日お天気が続き乾燥もだいぶ進んできました。今日は最終のゴミ取りを行うため、**唐箕**を使うこととしました。青根のWさん宅を訪れ、唐箕の使い方を教わりました。均一な風を送るためハンドルの回し方(力加減が必要)が大事で、1番蕎麦、2番蕎麦、ごみの3種類を重さで振り分ける。面白い。こうして蕎麦や米、小麦等のゴミ取りを行うのだなあと改めて、手作業時代の先人の知恵に感心しながら体験することができました。こうして選別した蕎麦を計量したところ、**1番蕎麦=17kg、2番蕎麦=0.6kg、ごみ=2.4kg**となりました。来年の蕎麦



種 5kg をとると、12 kgとなり、蕎麦粉では 8～9kg になると推測されます。今日は穏やかな秋日よりで、気持ち良い 1 日でした。ファームの藁の焼却も終わり、草刈りを除けば、ほぼ完了いたしました。

### 3. 課題

- ①蕎麦は雨(水)に弱いので、刈り取り後、乾燥させる方策の検討(雨除け、倉庫室内、縁側等)
- ②脱粒をお天気見合いで一斉にやる必要がある(集中稼働の確保が必要)
- ③今回は試験的に各工程の体験とノウハウ習得そしてデータ収集を行いました。今後、このプロジェクトが NPO として収益を考慮したビジネスモデルにつなげられるように検討していく必要がある。
- ④農作業や食に興味ある若い仲間の加入を推奨するようにしていきたい。

### 4. 今後の予定

- ①来年用の蕎麦の種を5kgプラス製粉用の12kg程度の蕎麦殻を暗所で保管いたします。
- ②平成 31 年 2～3月にミニ水力発電 G の 2号機完成時、試運転を兼ねて蕎麦の製粉を行う予定です。そして、蕎麦打ち名人による蕎麦打ちを行い、プロジェクトメンバをはじめ参加者でおいしくいただきたいと思っております。



**農作業は地道な作業と喜び(歓び)の繰り返しである！**